



いい顔 いい声 いい動き

鹿島市立明倫小学校
学校便り
令和2年 6月1日
第8号 文責 大川内加代子

コミュニティ・スクール

本校は、コミュニティ・スクールです。右の写真のように体育館横のフェンスにその事が掲げてあります。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と保護者の皆様・地域の皆様がともに知恵を出し合い、一緒に協働しながら、子ども達の豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。本校は、平成24年4月1日から、学校運営協議会が設置されています。そのおかげで、保護者や地域の皆様の声や支援が、よりよい教育につながっています。有り難い限りです。



5月25日（月）に下の写真のように、令和2年度 第1回学校運営協議会を開催しました。今年度のコミュニティ・スクール推進委員の皆様を紹介します。

末次 正義 様（明倫地区区長会代表）	森田 実 様（見守り隊代表）
峰松 勲 様（明倫地区老人会代表）	藤家 耕子 様（明倫地区民生委員代表）
大宅 輝行 様（元中学校長）	古賀 貴美子様（元PTA会長）
尾崎 みどり様（元PTA会長）	松丸 環大 様（PTA会長）

また、今年度の学校運営協議会担当は、諸石順子先生です。どうぞよろしくお願いいたします。
協議会の中で、下記の貴重なご意見をたくさんいただきました。

- ・雨の日にも歩いて登校する子ども達に感心する。きっと、雨の日ならではの、新しい発見をしていることと思う。
- ・かつて、子どもが小学生の時に、雨の日には、タオルや換えの靴下を持たせていた。
- ・学校敷地内での車のスピードが気になる。もしも、子どもが事故にあったらと心配である。

大いに納得しながら、ご意見を拝聴しました。予想のつかない厳しい時代を生きていく子ども達に「たくましさ」を身に付けさせたいと常日頃考えています。そのためにも本校では、「歩いて登校」を奨励しています。歩いて登校することで、体と心がたくましく育つこと間違いなしです。体調不良や家庭の事情がある場合は、やむを得ませんが、子ども達の将来のために、「歩いて学校に行くことで、心も体も成長するよ。」と言葉かけください。

なお、協議会で、今回の新型コロナウイルス感染予防に際しての学校の対応について温かいお言葉をいただきました。努力が報われた思いでした。ありがとうございました。



